

戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと（仮）」設立準備会式次第

ピースくまもと設立準備事務局会

1 趣 旨

戦後73年が目前となり、戦争の証言、体験を語れる人々が激減し、いま戦争のない平和な社会を持続するためにも、この惨劇を次世代に語り継ぐ事が急務です。

私たちピースくまもと設立準備事務局会は、これまで新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」並びに「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会を母体として、「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の尊さを学ぶ活動」の大切さを認識し、戦争体験の証言会、聞き取り活動、体験の継承を、さらに県内に残された戦争遺跡の調査保存、戦時資料の調査や公開、戦争遺産を通しての地域づくりを進めてきました。

本事務局会では、全国各地の平和資料館等の調査を独自に行い、その協議結果を取りまとめながら、次の三つの柱から、いま熊本に戦争と平和のミュージアムが必要だと痛感しました。

- (1) 熊本空襲を調査・記録し、未来に継承したい。
- (2) 熊本の戦争の歴史とその遺産に学びたい。
- (3) 次の世代が“学び！ 体験し！ ヒトに伝える！”事を進めていきたい。

今回このように、私たちは設立骨子案等を取りまとめ、熊本に戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと（仮）」設立準備会を発足させます。

2 日 時：平成30年5月13日（日）午後2時から4時40分まで

3 場 所：熊本県民交流会館「パレア」第1会議室・124人

4 主 催：ピースくまもと設立準備事務局会

5 後 援：熊本県教育委員会 熊本市
熊本日日新聞社 RKK熊本放送



青い目の人形「ベティ
ジェーン」八代鏡小

6 日 程

(1) 開会挨拶 ……ピースくまもと設立準備事務局会代表 小山和作

(2) 戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと（仮）」
準備会設立の経緯、骨子案、今後の活動に向けて
……ピースくまもと設立準備事務局会事務局長 高谷和生

(3) 意見発表（発表一人30分、計90分間）

①「熊本空襲の体験を未来に継承する」 熊本市 赤木満智子さん

②「熊本の戦争とその遺産をどう伝えるか
～菊池飛行場ミュージアムの事例～」 熊本市 永田 昭さん

[休 憩]

③「戦時資料へのおもい
～次の世代が学び、伝える～」 宇城市 上村真理子さん

(4) 会場、参加者からの質疑・意見交換 ※20分間

(5) 設立準備会の発足宣言 ……ピースくまもと設立準備事務局会事務局長 久米野安俊

(6) 閉会挨拶 ……ピースくまもと設立準備事務局会副代表 安藤富士記

(7) アンケート記入 ※10分間



問い合わせ先・連絡先

ピースくまもと設立準備事務局会

高谷和生宅 〒865-0061 玉名市立願寺126-5

個人携帯 090-1513-5528

久米野安俊宅 〒861-2234 上益城郡益城町古閑312-2

電話 096-221-5113

三隅康資宅 〒860-0822 熊本市中央区本山町106 1107

個人携帯 096-363-1913